

大湫観音堂、三十三所観音菩薩像及び境内の石造物群について

1. 概要

①来歴 ※創建時期不明

- ・『大湫松葉垣外観音堂再建留記』、『古今諸留記』より確認。

- 天和 2 年（1682）：すでに神明神社の境内に堂宇が存在

- 享保 6 年（1721）：現在地へ移転

- 文政 7 年（1824）：大火で焼失

- 弘化 4 年（1847）：再建

②大湫観音堂の状況

- ・木造平屋建て、幅 7m×奥行 7m×高さ約 6m、入母屋造り

- ・絵天井は三尾暁峰による作で市指定文化財

③三十三所観音菩薩像の状況

- ・全 35 体（うち 32 体は昭和 59 年（1984）に修繕）

- 聖観音菩薩坐像 5 体・立像 6 体、千手観音菩薩坐像 3 体・立像 14 体

- 馬頭観音菩薩坐像 1 体、不空羅索観音菩薩坐像 2 体、如意輪観音菩薩坐像 1 体

- ・ふだんは非公開（毎年 7 月に期間限定公開）

④石造物群の状況

- ・全 21 基（享保 6 年（1721）から安政 3 年（1856）まで）

- 村瀬氏によるもの 3 基、保々氏によるもの 6 基

- ・種別：灯籠、大乘妙典千部供養塔、廻国供養塔、笠弘法、経王石写塔等

2. 特徴など

①観音堂

- ・梁や組物には、禅宗建築にみられる精緻な彫刻や意匠を多く採用している。

【尾垂木、扇垂木、三手先組物(斗拱)、虹梁、海老虹梁(底部に錫杖彫)、臺股、獅子木鼻(阿吽像)、象木鼻】

- ・棧瓦葺き、唐獅子の飾り瓦

- ・弘化 4 年（1847）10 月 18 日の再建：屋根裏の棟札からも確認できた。

- ・棟梁：三輪正忠(太田宿)、葺師：志水義族(三河国小垣江村)

※三輪正忠は太田宿上町の三輪半兵衛に比定される。

※棟札には三輪正忠とともに「三輪米吉」なる人物の記載もあり、米吉は半兵衛の子とみられる。

【参考文献】高島博 1984『中山道太田宿に生きた人々の系譜』

※小垣江村は、現在の愛知県刈谷市。葺かれている瓦は、三州瓦とみられる。

②三十三所観音菩薩像

- ・散逸せず、35 体が一括して伝え残されてきた。

③石造物群

No.	種別（※）	刻銘（※）		
		年月日	西暦	施主等
1	水鉢	弘化四年丁未十月十八日	1847	施主 小林平助 桐井利左エ門 足立源三郎 三輪権兵衛
2	經典読誦塔	—	—	大乘妙典千部供養塔
3	名号塔	寛延元年戌辰年十月十五日	1748	南無阿弥陀佛 念佛講中
4	芭蕉句碑	寛政七年	1795	花盛り 山は日古ろの □□□□□ （「あさぼらけ」か）
5	写経塔	安政三丙辰年小春吉辰日	1856	小木曾吉房造立之 心経千部書寫塔
6	廻国塔	寛延四辛未年十月十八日	1751	願主 藤田忠右衛門 廻國供養塔
7	庚申像	宝暦十三未四月吉日	1763	一面六臂 三猿鶏
8	廻国塔	元文四乙未年十月拾四日	1739	濃州土岐郡大湫宿 願主 新六 西野和□ 大乘妙典六十六部 日本廻國供養 卯月濃州
9	灯籠	享保六□天	1721	施主 恵那郡上村 川上氏安健
10	写経塔	文政巳年十月吉祥日	1821	村瀬令整母儀 智盈建立 尾州城巽味減半湫野書
11	經典読誦塔	—	—	願主 梅顔貞紅大姉 勝室淨智大姉 大乘妙典千部供養塔
12	笠弘法	宝暦四申戌年十月朔日	1754	村瀬半左衛門による造立 （『ふるさと大湫百話』より）
13	写経塔	宝暦七丑十月十有五日	1757	願主 村瀬半右衛門令精 經王石寫塙
14	經典読誦塔	嘉永三年庚戌三月建爲	1850	願主 村瀬令整 大乘妙典千部供養
15	灯籠	享保八年五月拾四日	1723	施主 中西 保々安政
16	地藏尊	享保八年卯五月廿四日	1723	絶主保々安勝姜
17	墓碑か	享保十四年己酉六月十四日	1729	覚法了心居士 道外智了大姉 俗名保々安勝之婦
18	名号塔	享保六年丑六月吉日	1721	施主 保々安勝 南無阿弥陀佛
19	墓碑か	宝暦貳申七月十二日	1752	大乘了義居士
20	墓碑か	—	—	宗昌寺九世 眉三本靈首座禅師
21	灯籠	享保十乙巳年卯月十有八□	1725	保々安勝立之 泉昴日根郡中村石工 山内與一郎 西野□右衛門

※種別は、渡辺俊典 1986『ふるさとの石碑と灯籠』を参考にして記載

※刻銘は、令和 7 年 4 月～6 月に事務局で確認

④文化財的な価値

- ・本市における近世の禅宗建築の特徴を良好に残す建築物。
- ・市指定文化財「中切八幡神社鳥居」を制作した石工（山内與一郎）による同時期の石造物を含む。
[造立年] 中切八幡神社鳥居：享保 12 年（1727）、No.21 灯籠：享保 10 年（1725）
- ・宿運営の中枢を担った保々氏、村瀬氏の事績を確認できる石造物群。
- ・建築年及びその経緯が明確であり、境内地内の堂宇及び石造物群にほぼ改変がない。
- ・絵天井とともに大湫宿の繁栄及び村人の信仰の強さを伝える建築物及び石造物群。